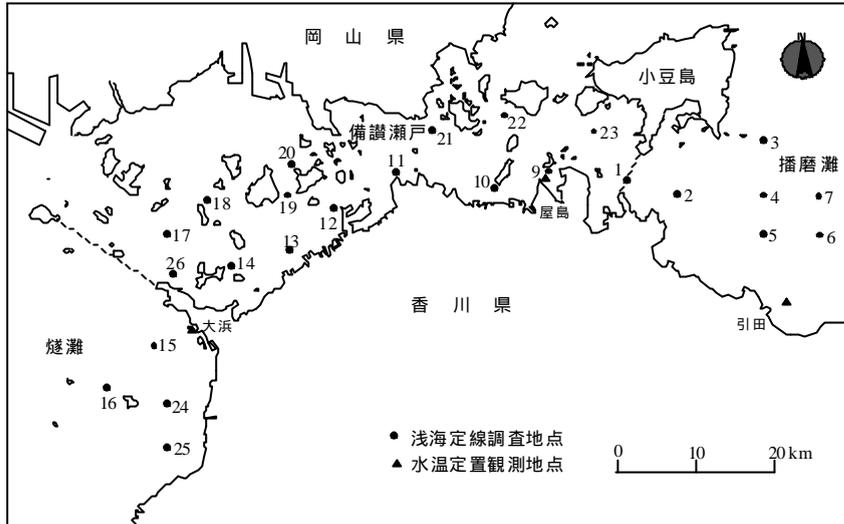


# 香川県漁海況速報 平成16年 2月 (H15-11号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成16年2月9日(播磨灘)、2日(備讃瀬戸、燧灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並みからやや高め」、塩分は「平年並みからやや高め」、透明度は「平年並みからやや高め」、溶存酸素は「やや低めから平年並み」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	9.4	9.5	9.6	32.8	32.9	33.0	10.1	6.57	6.51
	平年値	9.2	9.2	9.3	32.7	32.6	32.7	9.2	6.44	6.38
	平年偏差	0.2	0.3	0.4	0.1	0.2	0.3	0.9	0.13	0.13
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	10.1	10.1	10.1	33.1	33.1	33.1	7.3	6.10	6.15
	平年値	9.1	9.1	9.3	32.8	32.8	33.0	6.1	6.36	6.36
	平年偏差	1.0	1.0	0.8	0.3	0.3	0.2	1.2	-0.26	-0.21
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや低め	やや低め
燧灘	4地点平均値	9.8	10.0	10.0	32.8	33.1	33.1	7.6	6.25	6.05
	平年値	9.8	9.9	9.8	32.9	33.0	33.0	7.5	6.63	6.52
	平年偏差	0.0	0.1	0.3	-0.1	0.0	0.1	0.1	-0.38	-0.47
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間 水温及び塩分：昭和47(1972)～平成13(2001)年度

透明度：昭和58(1983)～平成13(2001)年度

溶存酸素：昭和55(1980)～平成9(1997)年度

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み 0 平年偏差 < 0.6 ( : 標準偏差)

やや高め(やや低め) 0.6 平年偏差 < 1.3

かなり高め(かなり低め) 1.3 平年偏差 < 2.0

著しく高め(著しく低め) 2.0 平年偏差

燧灘・備讃瀬戸と播磨灘の観測日が離れたので、水温、塩分、透明度の等値線図は記載していません。

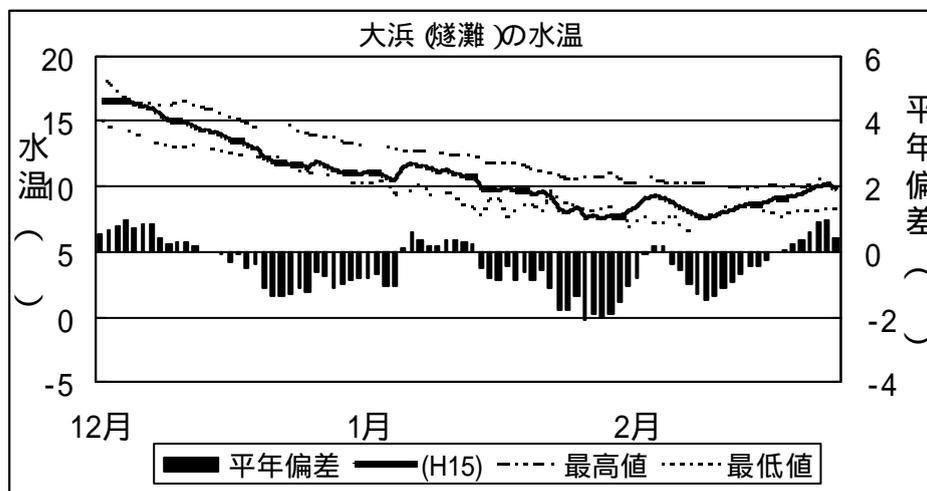
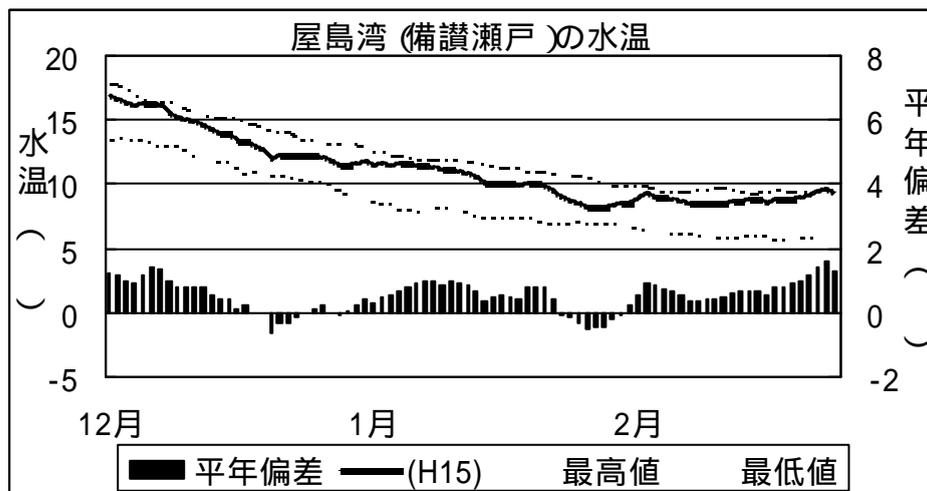
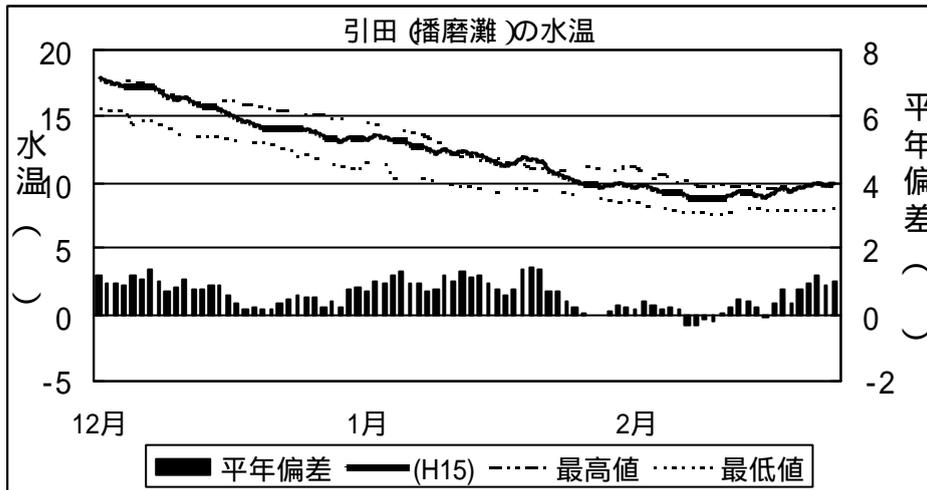
2) 定置観測(水温)

播磨灘(引田): 1月に入り平年偏差が1 前後で推移した後、下旬から小さくなり平年値前後を推移していたが、2月中旬から徐々に大きくなり1 前後で推移している。

備讃瀬戸(屋島): 1月に入り平年偏差が1 前後で推移し、下旬に平年値を下回った後、2月に入り変動しながら大きくなり、1.5 前後で推移している。

燧灘(大浜): 1月上旬に平年値を少し上回り、中下旬は平年偏差が - 1 ~ - 2 前後で推移し、2月に入り一時平年値を上回ったが、その後再度-1.5 に低下した後上昇に転じ、0.5 前後で推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成14(2002)年  
屋島: 昭和50(1975)~平成14(2002)年



### 3) 赤潮

播磨灘：発生なし。  
備讃瀬戸：発生なし。  
燧灘：発生なし。

### 4) 卵稚仔

調査日：平成16年2月9日（播磨灘）、2日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量

個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.63
備讃瀬戸平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.47
燧灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.75
総平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	-	-	-	0.0%
備讃瀬戸平均	-	-	-	0.0%
燧灘平均	-	-	-	0.0%
総平均	-	-	-	0.0%

- :平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成14（2002）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成14（2002）年度

カタクチイワシ、マイワシの卵稚仔は、全ての調査地点で採集されなかった。

## 2. 漁況

1月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網では主にウシノシタ類、小型エビ類、アカガイ、トリガイが漁獲されているが、全般的に低調である。
備 讃 瀬 戸	底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、イダコが漁獲されている。 中讃・高松沖のタイラギ潜水器漁業の漁獲量はむき身で100～140kg/日・隻と前年と比較すると多いが、小型～中型貝が多く価格が安い。 高松沖のイカナゴ込網は、1月18日から操業が開始されたが、1月の漁獲量は33トンで前年の47%と低調であった。
燧 灘	底びき網では主にウシノシタ類、マコガレイ、ネズッポ類、フグ類が漁獲されている。

